

確認テスト

所属 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

権利擁護／虐待防止 事例検討編 ③「意図的な虐待行為」と「非意図的な虐待行為」

事例（ある職員Aさんが受けた説明）

Aさんはパートとして週に4日特別養護老人ホームで働くことになりました。主に認知症の人が入居しているフロアで、入浴介助と昼食の食事介助が主な業務です。このフロアでは、新卒の若いスタッフと年配のベテランのスタッフが半々くらいの割合で働いています。

食堂で利用者の食事介助をしました。その時にこちらを向いて食事をしている車イスのBさんがいました。Bさんの斜め前にはベテランスタッフのCさんがBさんの様子も見ながら、他の利用者の食事介護をしています。Bさんは自力摂取で食事をしていました。Bさんは食堂の壁を背にして座っています。よく見てみると、Bさんのすぐ後ろに壁があるように感じました。

近くの新人スタッフのDさんに尋ねると、「Bさんはすぐに車イスから立ち上がろうとするので、テーブルで立ち上がれないように押さえているんです。前に車イスから立ち上がろうとして転倒したことがあって、家族からは立ち上がれないようにしてくださいと頼まれています」ということでした。それで、車イスで後ろに下がろうとしてもすぐに壁にぶつかって動けないようにしてあるんだと理解できました。

居室ではどうしているのかDさんに尋ねると、「うん、Bさんの部屋はナースセンターの真向かいの部屋なんですけど、すぐに動いたかどうかかわかるように掛け布団の足元やくつに鈴を付けているんです。鈴の音が聞こえたら、大急ぎでBさんの部屋に向かいます。本当はセンサーマットか何かがあればいいんだけど、今は他の人に使われちゃっているので、鈴で対応しています。

Bさんが動こうとしたようです。ベテランスタッフのCさんの「ちょっと待ってて、まだこっちのご飯が終わってないから。もうちょっとで終わるから、それまで待ってて。終わったら、テーブルをどかしてあげるから。待っててって。だから、終わったらどかしてあげるからって言ってるでしょ！」という大きな声が聞こえてきました。

- 1) この事例における意図的な虐待行為は何だと思いますか？
- 2) この事例における非意図的な虐待行為は何だと思いますか？

- 1) この事例における意図的な虐待行為は何ですか？
- 2) この事例における非意図的な虐待行為は何ですか？

1) 解答（例示）

- ・明らかに虐待であると判断できる行為は、Bさんが立ち上がれないようにテーブルで押さえていることやBさんが動き出そうとした時に、動かないようにし続けたことです。
- ・「終わったらどかしてあげるからって言ってるでしょ！」という大きな声です

<解説>

この事例における意図的な虐待行為とは、虐待の意思を持って虐待行為を行うことをいいます。安全確保のためにテーブルで押さえつけたり、テーブルを研がそうとしなかったりする行為のことを指します。

「終わったらどかしてあげるからって言ってるでしょ！」という大きな声は、心理的虐待の「威嚇（いかく）的な発言、態度」だと言えます。たとえ「終わったらすぐにどかしますので、それまでお待ち下さい」と言葉や言い方を穏やかにしても、言葉による拘束（スピーチロック）であることには変わりはありません。

2) 解答（例示）

- ・新人スタッフのBさんに対する行為についての理解そのものです。

<解説>

非意図的な虐待行為は、虐待した本人が虐待したことに気づかない虐待です。この事例の場合、新人スタッフのBさんに対する行為の理解が、すでに虐待行為を認めているということがわかります。仕方がないのだという理解であれば、虐待行為をなくすことは困難となります。

<総合解説>

意図的な虐待行為は不適切です。ベテランスタッフがした行為を虐待であると認識できれば、意図的な虐待行為はなくすことができます。

非意図的な虐待行為は、職員が虐待したことを認識していないために、何度も行ってしまう可能性があります。この事例では、新人スタッフの虐待についての理解が不十分であることが垣間見えます。問題が大きくなる前にカンファレンスなどを開いて、虐待に対する認識を改めることが必要です。